

第22回 姫路市新型コロナウイルス感染症対策本部会議での指示事項

(令和3年8月19日)

新型コロナウイルスの第5波が猛威を振るっており、1日あたりの全国の新規感染者数は8月18日に過去最多の2万3,916人が確認され、感染が爆発的に広がっております。

そのため、政府は、17日にまん延防止等重点措置区域に指定していた兵庫県など7府県を、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象地域に追加することを決定し、明日から適用されます。

兵庫県においても、若者を中心に第4波を超えるペースで感染が急増しており、新規感染者は18日には過去最多の1,088人となり、一週間平均の感染者においても過去最多を更新しています。また、病床使用率は6割近くに上昇し、医療がひっ迫しています。

県は、4度目となる緊急事態宣言の発出に伴い、感染拡大防止策として、県下全域において日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛、混雑した場所への外出機会の半減を要請するとともに、酒類やカラオケ設備を提供する飲食店等への休業要請、大型商業施設への入場制限等を行うことなどの対策を示しました。

本市においても、新規感染者が8月17日に79人、昨日18日には過去最多の119人となるなど、感染が急拡大しています。特に30歳未満の若い方の感染が半数を占めるなど、若年層への広がりが顕著になっております。

また、自宅療養を含めた入院者数は470人を超え、感染状況を示す7つの指標においては、病床のひっ迫具合、療養者数、新規感染者数等6つの指標でステージ4のレベルとなっており、非常に厳しい状況が続いています。

市民の皆さまにおかれましては、これまでもご不便をおかけしておりますが、感染力の強いデルタ株の蔓延を踏まえ、この感染拡大を早期に食い止め、医療ひっ迫を防ぐためにも、緊急事態宣言下であることを若い世代の方々をはじめ一人一人が認識し、人流の抑制や、より一層の感染対策の徹底をお願いします。

日中も含め不要不急の外出・移動を自粛、特に混雑した場所等への外出を半減してください。時短要請時間外の営業や酒類・カラオケ設備を提供する飲食店等や感染対策が徹底されていない飲食店等の利用はやめてください。友人等との会食や宅飲み、路上・公園での飲酒は絶対にしないでください。

また、事業所等でも複数のクラスターが発生しています。事業所等においては、従業員の感染対策の徹底をお願いします。多数の方が利用する集客施設では、入場整理等により密を避けてください。

本市の対応として、国や県の方針を踏まえ、姫路城を始めとする観光・文化施設や、スポーツ施設、貸館施設等の市有施設は、3密の回避、来館者の入場制限、時間の短縮、消毒の徹底など、万全の感染防止対策を講じた上で開館時間を20時までには制限して開館します。

市主催・共催のイベントは、国や県の方針を踏まえ、感染拡大予防ガイドライン等に基づき実施します。イベントを主催する部局は、業種別ガイドラインに沿った形で、感染対策を第一に考えた運営方法で実施してください。

ワクチン接種については、高齢者のワクチン接種が進んでおり、新規感染者に占める高齢者の方の割合は、今年2月時点で44%だったが、今月は2%と大きく抑えられています。これは、ワクチン接種の効果であると考えられ、重症化は防がれていますが、ワクチンを接種したから感染しないというわけではなく、カラオケ店の利用や大人数での飲酒は、周りの人への感染を広げる結果となるので、ワクチンを未接種の方と同様に自粛してください。

予約受付については、13日から対象年齢を17歳以上に拡大し、24日から12歳から16歳の方にも受付を始める予定としています。今後は、国からのワクチン供給に基づき、2週間ごとに予約枠を設定し、接種をより推進していきます。

また、ワクチン接種の副反応や接種後の死亡例等の誤った情報には惑わされず、正確な情報のもとでの積極的な接種への参加をお願いします。

1日あたりの新規感染者が過去最多の119人と爆発的に広がっています。市役所の各部署においては、災害レベルの緊急事態であることを強く認識し、行政としても一層気を引き締め、市民の規範となるよう、しっかりと対応してください。それぞれの状況に応じて、オンライン会議の推進、テレワークの促進、時差勤務制度の活用等により、接触機会の7割削減に更なる取り組みを図ってください。

これまで陽性者の少なかった、妊婦の方の感染も増えています。妊婦の方は、飲み会や買い物等の機会が少ないにもかかわらず、感染者が増え、妊婦用病床がひっ迫している状況であります。デルタ株は、疫学的に感染力が強いことがすでに分かっているので、気を抜かずにマスクの着用、手指消毒やパーテーションの設置等の基本的な対策を徹底して行ってください。

ワクチン接種を加速していくことによって、重症化を抑制できるのであれば、コロナウイルス対策が、インフルエンザ等への対策へと落とし込むことが可能になるかもしれません。市内の全希望者へのワクチン接種を1つの目標として、今一度、緊急事態宣言下であることを自覚し、各種対策に取り組んでください。

秋雨前線の大雨により、九州地方では1週間近く避難所が開設している地域もあります。この雨が長く続けば、姫路市内の河川氾濫等も予想されるので、避難所運営についても、担当部署はマニュアルを再確認し、避難所がクラスターとならない工夫をしてください。